

# 令和3年度事業報告

## 1 定時総会

令和3年5月11日(火)クーポール会館において定時総会を開催し、下記の議案を審議し可決した。会員総数61名中、出席者45名、委任状13名、欠席者3名

[議案]

- (1) 令和2年度事業報告について
- (2) 令和2年度収支計算書及び監査報告について  
収支計算書、貸借対照表、財務諸表に対する注記、正味財産増減計算書  
財産目録、監査報告書
- (3) 令和3年度事業計画(案)について
- (4) 令和3年度収支予算書(案)について
- (5) 協会入会金及び会費徴収規程の一部改定について  
付帯決議(案)

## 2 理事会

理事会を10回開催して、協会の運営並びに事業活動等について審議した。

- ( 4月6日、5月11日、6月18日、7月16日、9月17日、10月14日、  
11月26日、令和4年1月21日、2月24日、3月18日)

## 3 監査

令和3年4月6日(火)協会会議室において、鈴木達美監事、鍋田昌吾監事が令和2年度の会計及び業務の監査を実施した。望月専務理事が説明し、監査には藤山義修会長、山村卓道副会長(会計担当)が立ち会った。

監査結果は、「収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録」は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示していること、及び事業報告書の内容は適正であることが認められた。

この監査結果については、令和3年5月11日開催の定時総会で報告された。

## 4 入会及び退会者

入会者 賛助会員 3社

○(株)豊富(静岡市葵区安東3丁目19-11-2) 令和3年6月18日入会

- (株)トリンブルパートナーズ神奈川・静岡 静岡営業所  
(御殿場市川島 665-1 2F) 令和3年7月20日入会
- (株)快適空間 FC 静岡支店  
(静岡市葵区本通 7 丁目 2-27) 令和3年7月20日入会
- 退会者 会員 1社**
- (有)葵測量設計 (浜松市中区高丘東 3 丁目 52-24) 令和3年7月21日退会  
(令和3年8月1日現在 正会員 60社 賛助会員 5社 計 65社)

## 5 要望活動等

- (1) 令和3年6月3日(木) 正副会長・専務理事らは、静岡県副知事、交通基盤部長や関係部局・各課、県企業局、県教育委員会に「静測協会員名簿(令和3年5月現在)」を配布し、挨拶を行った。なお、難波副知事、和田交通基盤部長と面会した。
- (2) 令和3年7月12日(月) (一社)静岡県測量設計業協会(正副会長・専務理事)、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)静岡県地質調査業協会の建設関連業3団体と国土交通省中部地方整備局県内事務所は、中島屋グランドホテルにおいて意見交換会を行った。
- (3) 令和3年11月5日(金) 正副会長・専務理事と企画委員会は、県産業経済会館において県交通基盤部関係者との意見交換会を開催した。
- (4) 令和4年1月6日(木) (一社)静岡県測量設計業協会、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)日本補償コンサルタント協会中部支部静岡県部会、(一社)静岡県地質調査業協会の建設関連業4団体による静岡県知事・難波副知事への年始の挨拶は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各会長ら5名により行われた。そのあと、正副会長と専務理事による関係部局への新年の挨拶と機関誌「静測協 2022 新年号」の配布が行われた。
- (5) 全測連中部地区協議会(3県測協会長)と国交省中部地方整備局企画部との要望会は、令和3年12月13日(月)に中部地方整備局において行われた。

## 6 総務委員会

- (1) 技術論文等の投稿機会の創出とCPD(技術者の継続教育)のポイント取得、会員・業界全体への技術の継承を図る「静測協図書館」をホームページ内に5月開設した。

また、今年度の機関誌から優秀作品の掲載を図るために、4月1日から11月2日間の募集期間を設け、応募が14件ありました。審査会・理事会を経て図書館に13件を保存し、このうちの優秀作品3件を機関紙に掲載した。表彰式は令

和4年5月の総会を予定した。

- (2) 令和3年6月28日付けで国土交通事務次官から藤山会長へ建設事業に対する功績（測量業）による国土交通大臣表彰の通知があった。（令和3年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰 令和3年7月11日国発表）

静岡県における建設関連業4団体からの受賞は初めてで、コロナにより延期していた表彰式は、11月25日国土交通省共用大会議室において行われた。

- (3) 浜松市沿岸部は地域特有の砂丘景観があり、観光資源でもある「砂地」と貴重種カワラハンミョウの生息環境を維持するため、社会貢献の一環として中田島砂丘除草作業を令和3年10月20日（水）に行った。参加者28名

## 7 広報・経営改善委員会

- (1) 「測量の日」中部地区連絡協議会

「測量の日」中部地区連絡協議会は、日本測量協会中部支部長、全測連・中部地区協議会長、国土地理院中部地方測量部長、国土交通省中部地方整備局企画部技術調整管理官、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市の行政機関、岐阜県測協、静岡県測協、愛知県測協、三重県測協、東海工業専門学校金山校の14機関で構成されているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により会合はウェブ会議等で行われた。

令和3年12月2日（木）実行委員会（愛知県測協会議室）開催

竹内広報・経営改善委員長と望月専務理事が出席した。

令和4年3月9日（水）委員会（Web会議）には、藤山会長が参加した。

- (2) 「測量の日」中部地区連絡協議会記念行事「測量の日」記念講演会開催

4県測協の持ち回りと国土地理院中部地方測量部の隔年開催で実施しており、今年度も（一社）三重県測量設計業協会により開催予定であったが、コロナにより中止された。

- (3) 「地図教室」（小学校・中学校を対象）

国土地理院中部地方測量部の担当官がプロジェクターを使って講話を行い、測量の役割や地図の読み方を説明した。（講話）

次に、広報・経営改善委員長等から日本地図を歩いて制作した伊能忠敬のお話と会員の測量士らと共に、児童は10メートル歩いた歩数から自分の歩幅を割り出した後、ひみつの道で自分が歩いた歩数と歩幅から距離を計算する問題に取り組んだ。その後、測量機器を使った計測を行い、正確な距離との比較を学んだ。（測量体験学習）

静測協では、下記の小学校において、広報・経営改善委員会及び地元協会員が中心となり「地図教室」を開催した。また、ドローン教室やドローンによる

集合写真を撮影した学校もありました。なお、国土地理院中部地方測量部からは志田次長が参加した。

「地図教室」開催校（5校）

学 校 名	所 在 地	児 童 数	開 催 月 日
浜松市立中ノ町小学校	浜松市東区中野町 427-1	4 年生 53 名	6 月 8 日
静岡市立伝馬町小学校	静岡市葵区伝馬町 14-2	4 年生 43 名	6 月 10 日
川根本町立中川根第一小学校	榛原郡川根本町徳山 100	456 年生 20 名	6 月 15 日
御殿場市立神山小学校	御殿場市神山 478-2	4 年生 42 名	6 月 25 日
浜松市立北浜小学校	浜松市浜北区横須賀 800	4 年生 93 名	7 月 5 日

※協力会員 6月8日：不二総合コンサルタント(株)、(株)フジヤマ、吉田測量設計(株)、竹内測量設計(株)、6月10日：(株)建設コンサルタントセンター、昭和設計(株)、(株)スルガコンサル、6月15日：大鐘測量設計(株)、(株)グリーン、(株)松井測量設計事務所  
6月25日：中央建コン(株)、(株)アクト、(有)小林技研興業、(株)駿河調査設計、(株)滝口測量設計、7月5日：(株)共和コンサルタント、(株)技研測量、(株)松和技研、(株)中部総合コンサルタント、(株)殿村、(株)日進（協力会員 22社）

開催校を選定するため、事務局が電子基準点のある学校への打診と各支部・会員による地元の学校への声掛けを行っている。また、国土地理院中部地方測量部次長と望月専務理事が令和3年5月12日（水）と令和4年2月24日（木）に静岡県教育研究会社会科研究部会に対して地図教室の説明を行った。

(4) 6月3日の「測量の日」は、測量の意義と重要性について国民に理解と関心を一層高めることを目的に、平成元年に制定されたもので、33回目を迎えた。

令和3年6月2日(水)の建通新聞に「6月3日は『測量の日』」の広告を掲載し、「測量の日」を機会に、国民に新しい時代の測量・地図の意義と重要性について、一層の理解を訴えた。

(5) 令和3年度社長研修会の延期

令和3年10月14日(木)～15日(金) 浜名湖レイクサイドプラザでの開催は、9月17日(金)の理事会において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため来年度へと2度目の延期とした。

(6) 発注機関等への啓発活動

ア 令和3年度会員名簿1,550部を発行し、6月に正副会長や東部・中部・西部の各支部の役員・会員により、県内発注機関（国土交通省等の出先事務所、県庁及び出先事務所、市町等）に会員への指名方の要望に併せて配布した。

イ 機関誌「静測協2022新年号」を1,290冊発行し、令和4年1月に会員の協力により県内発注機関及び各都道府県測量設計業協会・地図教室開催校等に配布

し、協会活動の紹介を通じて、業界及び協会の啓発・周知を図った。

ウ 建通新聞に協会名と全会員の社名入り年賀広告を掲載(令和4年1月1日号)及び静岡理科大学理工学部土木工学科の特集号(令和4年3月16日号)に協会及び会員・賛助会員名のPRをした。

エ 全測連の機関誌「全測連2022」(200部)を2~3月に掛けて会員及び県内発注機関に配布した。

#### (7) 県民無料測量設計相談所

協会内に常設相談所を置き、主に電話による相談に応じ、4件の相談があった。

#### (8) ホームページの管理

協会のホームページを通して積極的に情報開示し、最新の情報の掲載に努めるとともに、新たに図書館を開設し、会員職員の技術の向上と継承に取り組んだ。

## 8 企画委員会

(1) 静岡県交通基盤部との意見交換会テーマ(意見・要望)と中部地方整備局との要望会への要望を、4月に会員へ依頼して、6~8月に掛けて取りまとめ、静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課と全測連中部地区協議会へ提出した。

5月20日(木)と7月8日(木)に企画委員会を開催して取りまとめた。

(2) 静岡県交通基盤部関係者との意見交換会の実施

日時 令和3年11月5日(金) 9:30~11:30

場所 静岡県産業経済会館 3階 特別会議室

出席者 静岡県交通基盤部 建設政策課、建設業課、工事検査課長、公共用地課長、道路整備課、道路保全課長、土木防災課、砂防課

【県窓口】技術調査課長、課長代理、技術調査班長、建設ICT推進班長(計13名)

(一社)静岡県測量設計業協会 藤山会長、鈴木副会長・山村副会長・宮島副会長、勝間田理事(企画委員会委員長)、大井委員・服部委員・木俣委員、望月専務理事(計9名)

令和3年12月14日、この議事録を会員にメールで配信した。

(3) 中部地方整備局と全測連中部地区協議会の要望会は、令和3年12月13日に行われ、藤山会長が出席した。

(4) 「安全作業マニュアル」の作成

県交通基盤部建設経済局工事検査課が、来年度「測量調査業務事故防止行動計画」を予定していることから、県工事検査課と公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会の協力を得て、当協会の「安全作業マニュアル」を千冊作成して、会員に令和4年1月24日までに配布した。

また、令和4年1月25日には静岡県男女共同参画センター「あざれあ」において、佐藤芳健工事検査課長を講師に招き安全研修会を実施した。この時、Zoomによる配信も行い17か所で視聴された。会場参加者は25名であった。

## 9 技術委員会

### (1) 技術講習会

#### ア 第1回技術講習会 (3Dに向けて)

日 時 令和3年6月11日(金)9:30~16:00

場 所 静岡県静岡労政会館6階大ホール・5階視聴覚室

テーマ 及び 講師

- ・「県の政策について」

静岡県交通基盤部建設経済局技術調査課 課長 良知 孝悦

- ・「3次元点群データ活用に等について」

静岡県交通基盤政策管理局建設政策課未来まちづくり室班長 杉本 直也

- ・「作業規程について (ドローン編)」

Yasstyle 代表 松尾 泰晴

- ・「作業規程について (3Dスキャナー編)」

(株)サーベック 営業部次長 森田 和秀

- ・「点群処理ソフトの種類と機能について」

福井コンピュータ(株)静岡オフィス 主任 山崎 健太郎

- ・実例 静岡市清水区忠霊塔報告等

トリンプルパートナーズ神奈川・静岡 静岡営業所長 芹澤 広師

参加者 114名

この講習会を実施するにあたり、亀谷技術委員長と賛助会員による検討会を開催して、講師と内容を詰めた。

#### イ 第2回技術講習会 [(一社)静岡県建設業協会、県産業経済団体連合会、静岡県測量設計業協会による3団体合同技術講習会)「建設ICTの推進」]

日 時 令和4年1月19日(水)9:10~16:30

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 6・7階大ホール・小ホール  
同時開催 賛助会員4社による展示相談会 12:00~17:30

テーマ 及び 講師

- ・建設ICTの推進 現状と今後の方向性について

静岡県交通基盤部 建設経済局 技術管理課長 良知 孝悦

- ・未来まちづくり室の役割と3次元点群データの推進について

静岡県交通基盤部 政策管理局 未来まちづくり室長 増田 慎一郎

- ・ ICT 活用工事の最近の動向と今後の展望（マニュアルの改訂等）  
（一社）日本建設機械施工協会施工技術総合研究所研究第3部副主幹 椎葉 祐士
- ・ 国の ICT 推進について（CIM 施工のロードマップの取り組み等）  
国土交通省 国土技術政策総合研究所社会資本マネジメント研究センター  
社会資本施工高度化研究室 主任研究官 大槻 崇
- ・ 3次元点群データを活用した防波堤消波ブロック災害状況調査について  
（株）建設コンサルタントセンター 地理情報調査部 統括部長 中嶋 規人
- ・ 平成30年度 市単独事業 浜北平ロサッカー場（スポーツ広場）人工芝改修工事（※）  
※第37回（一社）静岡県建設業協会建設もの創り大賞土木部門優良賞・特別賞受賞  
須山建設（株） ICT 推進室 技術委員 内山 陽可里
- ・ 3次元点群データを活用した福田漁港・浅羽海岸サンドバイパス付近の地形把握他について  
（株）スルガコンサル 技術部測量課三次元推進グループ 瀧 泰尚
- ・ TLS 各種別の業務効率比較 ・ 最新マニュアルへの ICT 建設機械の対応  
（株）トリンプルパートナーズ神奈川・静岡 静岡営業所長 芹澤 広師  
（株）Geo 渡辺 弘貴

参加者 126 名（静測協 47 名、建設業協会 79 名）

ウ 第3回技術講習会〔共催 公益社団法人日本測量協会〕実務者向けセミナー  
（ビデオ講習会）～UAVを用いた新たな計測技術とその利用～

日 時 令和4年2月2日(水)9:30～16:30

場 所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 6・7階 大ホール

テーマ 及び 講師

- ・ 開会・UAV 利活用セミナー等から見えてきた動向  
日本測量協会 専務理事 瀬戸島 政博
- ・ ドローンを用いた測量・調査における3次元データ利用  
日本測量協会 認定講師 国際航業(株) 村木 広和
- ・ UAV 目視外飛行の最前線  
日本測量協会 認定講師 ルーチェサーチ(株) 渡辺 豊
- ・ UAV による SLAM 活用と技術最前線  
日本測量協会 認定講師 八千代エンジニアリング(株) 石井 明
- ・ UAV 搭載型 ALB 計測の最前線  
日本測量協会 認定講師 (株)パスコ 小澤 淳真
- ・ 農業・防災分野を対象とした利用事例と2022年への改正に向けた最新動向  
日本測量協会 認定講師 (一社)日本ドローンコンソーシアム 伊東 明彦
- ・ UAV 利用技術をより深めるために・閉会

日本測量協会 常務理事 住田 英二

参加者 19 名、当日の欠席者及び欠席会員にはテキストを後日配布した。

## (2) 地理空間情報産学官中部地区連携協議会に参画

地理空間情報産学官中部地区連携協議会の構成は、産業界から（公社）日本測量協会中部支部、（一社）全測連中部地区協議会及び4県の（一社）測量設計業協会、学界から名古屋大学、岐阜大学及び中部大学、官から国土交通省中部地方整備局企画部、国土地理院中部地方測量部、愛知県他3県4市等、事務局は国土地理院中部地方測量部である。

産学官が連携して取り組むべき課題、これに関連する学術、産業、技術・研究開発の動向等に関する意見交換及び情報提供等を行うために開催した。

令和4年1月31日（月）名古屋市内で開催され、亀谷技術委員長・望月専務理事がウェブ会議により参加した。また、会議資料は会員に提供した。

## (3) 静岡県ふじのくに i-Construction 推進支援協議会に参画

（当初の名称 静岡県CALS／EC推進協議会）

静岡県CALS／EC推進協議会会長は静岡県交通基盤部長、副会長は（一社）静岡県建設業協会会長である。当協会は委員として会長、専門部会委員として技術委員長、作業部会委員として技術委員の3名が参画している。また、i-Constructionに取り組むため専門部会を母体に設置された情報化施工推進WGと平成28年12月22日に設立された「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」には、当協会から技術委員長、技術委員が参加した。

なお、「ふじのくに ICT 活用工事支援協議会」は、平成29年7月19日に「ふじのくに i-Construction 推進支援協議会」に改称され、現在、当協会からは亀谷技術委員長、深民技術委員、倉田特別委員の3名が参画している。

第1回 令和3年9月7日（火）14：00～16：00 オンライン開催  
また、会議資料は会員に提供した。

第2回 令和4年3月10日（木）14：00～16：00 オンライン開催  
また、会議資料は会員に提供した。

### ① 「3次元データ活用ウェビナー」の開催 未来まちづくり室

日時 令和3年4月26日（月）10:30～12:00 会場 オンライン開催

### ② 「静岡市清水区忠霊塔3次元計測に伴う作業内容報告会」未来まちづくり室他

日時 令和3年4月27日（火）9:30～11:30

会場 静岡市清水区駒越生涯学習交流館・忠霊塔公園グラウンド

### ③ 「3次元測量講座」 県未来まちづくり室他

日時 令和3年6月21日（月）9:30～16:30 2回の研修会

会場 静岡県建設技術監理センター

### ④ 「静岡県民間電子基準点の検討」

日時 令和3年8月24日（火）13:30～

会場 協会会議室



その他に、8月27日、9月16日に県未来まちづくり室と打合せをした。

(4) 静岡市CALS/EC推進協議会に参画

静岡市CALS/EC推進協議会会長は静岡市建設局土木部長、副会長は静岡市建設局道路部長、(一社)静岡建設業協会会長、(一社)清水建設業協会会長である。

当協会は委員として会長、専門部会委員として企画委員が参画している。

なお、平成24年3月5日(月)開催以降開かれていない。

(5) 静岡大学土木情報学研究所への参画

学内に令和2年10月1日設立され、当協会も参画した。普段の情報共有の強化が図られた。

(6) 技術委員会WG(ワーキンググループ)の設置

昨年、国土交通省BIM/CIM推進の対応によりプロジェクトチームを立ち上げたが、今後も国のDX推進や県の3次元点群データの活用が強く求められていることから、測量設計について常時対応ができるように技術委員長も含め10名のプロジェクトチーム(東中西部各3名)を設置した。

第1回会議 令和3年10月13日(水)10:00~12:00 県産業経済会館

・県未来まちづくり室と今後の活動について協議

メンバーは、亀谷技術委員長、(株)ウィンディーネットワーク、静岡コンサルタント(株)、(株)東日、大鐘測量設計(株)、昭和設計(株)、服部エンジニア(株)、(株)中部総合コンサルタント、(株)日進、(株)フジヤマ

積算歩掛等も関係するので、必要時に営業も加えることにした。

また、民間電子基準点の設置等の課題にも対応することとした。今後、推進を図るために協会は県及び(一社)先端空間情報技術評価支援センターと来年度に協定書を締結する予定でいる。

(7) 静岡理科大学理工学部土木工学科の「静岡土木技術研究会」の参加

令和4年4月開講の理工学部土木工学科から共通して抱えている課題解決の産学官による研究会の立上げに参加することとした。

令和4年3月2日(水)キックオフミーティングが行われ、宮島西部支部長と技術委員会WG座長の八木氏の2名が担当窓口となり、牧田広報・経営改善委員も同席した。

## 10 調査委員会

(1) 土木積算S・E事業

県交通基盤部建設経済局技術調査課と協議して、今年度から研修会の名称を変更するとともに、農地工事の積算も取り入れた。

ア 土木積算定期講習会(旧名「土木積算S・E」資格更新講習会)

日時 令和3年6月30日(水)12:50~16:00

場所 静岡市民会館 中ホール

講習内容

(ア) 土木工事標準積算基準について

(イ) 土木設計積算システムについて

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 3名

講習修了者 268名

挨拶 会長代理 山村卓道副会長、運営 調査委員会及び事務局

協力 昭和設計(株)

イ 土木積算初級（前期）講習会（「土木積算 S・E 選定」前期講習会）

日時 令和3年10月20日(金) 10:00～15:50

場所 静岡県静岡労政会館 6階 大ホール

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 3名

講習修了者 52名

ウ 土木積算初級（後期）講習会及び修了試験

（「土木積算 S・E 選定」後期講習会・修了試験）

日時 令和4年1月11日(火)：9:50～16:10

場所 静岡県静岡労政会館 6階 大ホール

講習内容

(ア) 土木工事の積算について

(イ) 土木積算システム及び設計書作成方法について

(ウ)筆記試験

講師 静岡県交通基盤部 技術調査課職員 2名

講習修了者・受験者 51名

(2) 静岡県の建設事務総合システムの利用許諾を前提に、協会は市町と「土木積算 S・E 選定要領に関する覚書」を締結している。

今年度覚書を締結したところは無く、締結済みは御前崎市、袋井市、浜松市掛川市、森町、菊川市、富士宮市、藤枝市、焼津市、松崎町、島田市、伊豆の国市の12市町となる。また、富士市が令和4年3月28日付で覚書を締結した。

これにより、静岡県土木設計積算システム（SMILES-ASP）を利用して、電算帳票作成業務を「土木積算 S・E 資格者」が在職する測量設計業者に委託することができる。

なお、静岡市が静岡県との「静岡県土木事務総合電算システムの利用に関する覚書」を解除したことに伴い、協会は静岡市長と締結済みであった「土木積算 S・E 選定要領に関する覚書」を平成25年3月1日に解除した。

## 1 1 災害対策委員会

### (1) 災害復旧事業技術研修会の開催

災害復旧の測量・設計業務を直接担当する技術者を対象に、(一社)静岡県建設コンサルタント協会と共催した。

日 時 令和3年6月23日(水) 13:00~16:50

会 場 静岡県産業経済会館 静岡市葵区追手町44-1 3階 大会議室

講 師 静岡県交通基盤部土木防災課・道路保全課、砂防課職員と会員2社  
(株式会社建設コンサルタントセンター・株式会社スルガコンサル)

砂防課講師による三次元点群データの土砂災害対策への活用と会員2社による県等の防災訓練時のドローンによる被災情報収集訓練報告が行われた。

参加者 66名

### (2) 静岡県及び県内市町等との「災害時における測量設計等業務委託に関する協定」について

災害協定の目的は、災害応急復旧工事に必要な測量設計等業務を迅速に実施することにより、公共土木施設等の機能の確保又は回復を図ることである。静岡県交通基盤部、経済産業部7農林事務所(治山、森林、農地)、静岡県道路公社、静岡県教育委員会、静岡県企業局及び下記表の市町と「災害時における測量設計等業務委託に関する協定書」(以下「災害協定書」という。)を締結している。

今年度は、御殿場市・熱海市・裾野市の3市と締結したので、災害協定締結市町は県下35市町のうち34市町となった。(未締結市 御前崎市)

[これまでの経過]

- ① 平成17年3月30・31日 静岡県建設部の13事務所長と災害協定書を締結した。
- ② 平成17年11月22日 焼津漁港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ③ 平成18年12月20日 浜松市長と災害協定書を締結した。
- ④ 平成19年 3月13日 静岡市長と災害協定書を締結した。
- ⑤ 平成21年 5月25日 静岡空港管理事務所長と災害協定書を締結した。
- ⑥ 平成21年 7月 1日 静岡県建設部の13事務所長(土木関係)と  
~16日 災害協定書及び実施細目の変更協定書を締結した。  
主な変更箇所は、様式第2号(技術者総括表)である。
- ⑦ 平成21年 8月19日 静岡県経済産業部の出先7農林事務所(治山・森林関係)  
~31日 と災害協定書を締結した。
- ⑧ 平成21年11月 1日 川根本町長と災害協定書を締結した。
- ⑨ 平成21年11月30日 藤枝市長と災害協定書を締結した。
- ⑩ 平成21年12月25日 島田市長と災害協定書を締結した。

- ⑪ 平成22年 1月 8日 焼津市長と災害協定書を締結した。
- ⑫ 平成22年 2月 8日 吉田町長と災害協定書を締結した。
- ⑬ 平成23年 4月 1日 三島市長と災害協定書を締結した。
- ⑭ 平成23年 6月 1日 伊豆の国市長と災害協定書を締結した。
- ⑮ 平成23年11月25日 小山町長と災害協定書を締結した。
- ⑯ 平成24年 1月13日 掛川市長と災害協定書を締結した。
- ⑰ 平成24年 1月19日 菊川市長と災害協定書を締結した。
- ⑱ 平成24年 7月18日 静岡県交通基盤部長と災害協定書を締結した。  
この締結にともない、①②⑤との協定を廃止した。
- ⑲ 平成24年 9月25日 牧之原市長と災害協定書を締結した。
- ⑳ 平成24年11月 5日 河津町長と災害協定書を締結した。
- ㉑ 平成25年12月12日 富士市長と災害協定書を締結した。
- ㉒ 平成25年12月20日 清水町長と災害協定書を締結した。
- ㉓ 平成26年 3月 4日 森町長と災害協定書を締結した。
- ㉔ 平成26年 3月24日 沼津市長と災害協定書を締結した。
- ㉕ 平成26年 7月24日 磐田市長と災害協定書を締結した。
- ㉖ 平成26年 8月 4日 西伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉗ 平成26年 8月22日 静岡県道路公社と災害協定書を締結した。
- ㉘ 平成26年 9月30日 袋井市長と災害協定書を締結した。
- ㉙ 平成27年 1月19日 湖西市長と災害協定書を締結した。
- ㉚ 平成27年 7月16日 富士宮市長と災害協定書を締結した。
- ㉛ 平成28年 8月24日 南伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉜ 平成30年 3月28日 静岡県経済産業部の7農林事務所長（山地災害・治山施設等の災害・農地農業用施設災害）と災害協定書を締結した。この締結に伴い、⑦との協定を廃止した。
- ㉝ 平成30年 3月29日 静岡県教育委員会教育長と災害協定書を締結した。
- ㉞ 平成30年 6月22日 東伊豆町長と災害協定書を締結した。
- ㉟ 平成30年12月19日 松崎町長と災害協定書を締結した。
- ㊱ 平成31年 1月16日 長泉町長と災害協定書を締結した。
- ㊲ 平成31年 3月 8日 下田市長と災害協定書を締結した。
- ㊳ 令和元年11月15日 静岡県企業局と災害協定書を締結した。
- ㊴ 令和 2年 3月 5日 函南町と災害協定書を締結した。
- ㊵ 令和 2年 7月17日 伊東市と災害協定書を締結した。
- ㊶ 令和 2年10月19日 伊豆市と災害協定書を締結した。
- ㊷ 令和 3年10月18日 御殿場市長と災害協定書を締結した。

- ㊸ 令和 3年12月 9日 熱海市長と災害協定書を締結した。
- ㊹ 令和 4年 2月 4日 裾野市と災害協定書を締結した。

なお、協定書締結に伴い締結先に毎年「協力者名簿」を提出している。  
また、協定書は当協会のホームページに掲載している。

(3) 遠隔地の他県測協との「広域災害時相互応援に関する協定」について

東日本大震災の教訓から、南海トラフ大地震等広域災害発生時に不足する測量設計技術者を確保するため、同時被災のリスクが少ない静岡県と熊本県の測協間の災害協定を締結するように、静岡県と熊本県のご指導を受け、平成 26 年 7 月 31 日に両県立会いの下、(一社) 熊本県測量設計コンサルタンツ協会と「災害時相互応援協定」を締結した。

同様な主旨から、平成 28 年 8 月 3 日、静岡県と鹿児島県立会いの下、静岡県庁にて(公社) 鹿児島県測量設計業協会と「災害時相互応援協定」を締結した。  
今年度も、熊本県の当番であるが新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として開催を中止・延期した。

(4) 災害時応援協定締結者との出動要請・応諾訓練や研修会等

ア 静岡県交通基盤部 13 出先機関との出動要請・応諾訓練

日 時 令和 3 年 8 月 23 日～9 月 10 日の間

協力者 会員 42 社(熱海・沼津土木分は災害により中止)

イ 富士宮市との情報伝達訓練(メール送受信)

日 時 令和 3 年 10 月 4 日(月) 9 時～9 時半

担 当 東海技術開発(株)

ウ 掛川市災害時応援協定締結事業者連絡会の参加

日 時 令和 3 年 10 月 25 日(月) 14 時～16 時頃

会 場 掛川市市役所 4 階 会議室 1

参加者 松井災害対策委員長

エ 静岡県企業局との情報伝達訓練(メール送受信)

日 時 令和 4 年 3 月 2 日(水) 10 時 3 分

担 当 (一社) 静岡県測量設計業協会事務局

(5) 静岡県建設副産物対策連絡協議会への参画

静岡県建設副産物対策連絡協議会長は静岡県交通基盤部長、副会長は交通基盤部理事である。当協会は、委員会に会長、幹事会に災害対策委員長、実務担当者として事務局長が参画している。

令和 2 年 9 月 30 日、国の「建設リサイクル推進計画 2020」が策定されたことから、今後、静岡県はこれに準ずることとした。

今年度は、発生土トレーサビリティシステムや重点課題について検討した。

- (6) 4月10日に協会で使用する地震対策・視察用ヘルメット20個を設置し、5月末までに協会名入り安全ベルトを会員全員に1着配布した。
- (7) 全測連中部地区協議会3県による災害応援に関する協定のWeb会議  
令和3年5月19日(水)松井災害対策委員長と望月専務理事が参加して各県の災害協定の状況を話し合った。また、10月27日(木)・令和4年2月9日にも災害協定の見直しの意見交換会を行った。
- (8) 災害時における山梨・静岡・神奈川県測協の応援協力に関する協定締結  
(一社)静岡県・山梨県・神奈川県測量設計業協会3者は、令和3年12月17日(金)に静岡県交通基盤部の協力を得て、和田直隆交通基盤部長はじめ幹部の立会いの下、3県測協による広域応援協定を締結した。

## 1.2 倫理委員会

- (1) 独占禁止法遵守研修会及び建設関連業務委託安全研修会

当協会、(一社)静岡県建設コンサルタント協会、(一社)静岡県地質調査業協会、(一社)日本補償協会コンサルタント協会中部支部静岡県部会の建設関連業4団体の共催により開催した。

日 時 令和4年1月25日(火) 13:20~16:20

会 場 静岡県男女共同参画センター あざれあ 2階 大会議室

講 師 (公財)公正取引協会 客員研究員 相関 透

研修内容 入札談合と独占禁止法について

独占禁止法の改正も併せて最新動向と入札談合防止のためのコンプライアンスの講義を行った。

講 師 静岡県交通基盤部建設経済局 工事検査課長 佐藤 芳健

研修内容 建設関連業務委託における安全対策について

参加者 会場25名、オンライン17か所

欠席会員等には、後日、研修会資料を送付した。

- (2) 当協会のホームページ・会員名簿及び機関誌新年号に「倫理綱領」を掲載し、会員企業の社員に法令遵守を喚起している。この倫理綱領は、測量設計業に携わる者の基本的なルールであり行動指針であるので、会員企業の執務室に掲示するなど、周知徹底に努めている。

## 1.3 積算システム運営委員会

令和4年1月21日(金)、静岡県交通基盤部技術調査課の担当者に出席いただき、協会会議室において第1回積算システム運営委員会を開催し、令和3年

度土木積算初級研修会の修了試験の結果について審議した。

その結果、受験者 51 名中、合格者は 49 名であった。

「土木積算 S・E」の試験の受験者数は、制度創設当初を除けば平成 9 年度をピークに減少傾向である。平成 4 年度から令和 3 年度までの合格者は 1,813 名であるが、令和 4 年 3 月現在「土木積算 S・E」資格者として台帳に登録されている者は 643 名である。(内訳：会員 516 名、会員外 127 名)

#### 1 4 他団体への講師派遣〈技術委員会担当〉

静岡県建設技術監理センターの依頼により、静岡県土木技術職員研修「採用 1 年目研修」(測量概論・測量演習 [実測・計算]) に下記の中支部会員 5 社から講師を派遣した。

派遣年月日：令和 3 年 5 月 26 日 (講義)、27・31 日 (実習・県と市町別)

講師を派遣した会員：昭和設計(株)、(株)建設コンサルタントセンター

(株)スルガコンサル、服部エンジニア(株)、(株)ツルタコンサルタント

昨年度からの測量 CPD は、講師として参加者全員に 1 時間当たり 3 ポイントを取得した。

#### 1 5 他団体等が主催する講習会等への参加

##### (1) 「第 25 回農地技術研究発表会」

主 催 静岡県産業経済部農地局 (農地整備課)

日 時 令和 3 年 10 月 29 日 (金) 9 : 30 ~ 14 : 10

会 場 県庁別館 8 階第 4 会議室

配 信 YouTube 令和 4 年 3 月 31 日まで配信

##### (2) 「新技術交流イベント in Shizuoka 2021」

主 催 静岡県交通基盤部 (事務局 建設経済局 技術調査課)

日 時 令和 3 年 11 月 2 日 (木) 10 : 00 ~ 17 : 00

会 場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

##### (3) 静岡県交通基盤部技術発表会 (土木技術)

主 催 静岡県交通基盤部 (静岡県建設技術監理センター)

日 時 令和 3 年 11 月 18 日 (木) 10 : 00 ~ 16 : 30

配 信 限定公開 (YouTube) 12 月 1 日 ~ 12 月 28 日

ほかにも多数ありましたが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点からオンラインによる研修や会員等に限定した開催が多くみられた。

他に多数ありますが、ページ数の関係で割愛しました。

## 16 支部活動

### 「東部支部」

令和3年

- 4月2日 支部監査・支部理事会 於 プラザヴェルデ 13:00～15:00  
出席者 5名（支部長・理事 2名・監事 2名）
- 4月23日 令和3年度支部総会 於 プラザヴェルデ 10:00～12:00  
会員総数 30名 出席者数 25名 委任状 4名  
・平成2年度事業報告  
・平成2年度収支決算報告書及び監査報告並びに承認の件  
・令和3年度事業計画（案）承認の件  
・令和3年度収支予算（案）承認の件
- 5月17日 沼津土木事務所長との面談 於 沼津土木事務所 10:00～  
出席者 3名（鈴木正明支部長、齋理事・勝間田理事）  
・東部支部活動の予定とお願い
- 6月9日 第1回支部役員会 於 ベルフォーレ長泉 13:30～  
出席者 16名（支部長・理事・監事・各委員会委員長副委員長）  
・東部支部活動内容について・沼津土木事務所との意見交換会につ  
いて・支部ノベルティについて・地図教室について  
会議終了後、3団体会員名簿ファイリング
- 8月31日 第2回支部役員会 於 プラザヴェルデ 14:00～  
出席者 10名（支部長・理事・監事・各委員会委員長）  
・沼津土木事務所との意見交換会議題について  
・支部全体協議会について・土木の日について  
・電子基準点設置について・地図教室について
- 9月6日 沼津土木事務所との意見交換会事前協議  
於 沼津土木事務所 16:00～17:30  
出席者 県 側：杉山企画班長  
支 部：支部長及び大井企画委員長（2名）  
・意見交換会の内容について
- 9月29日 「土木の日」事前協議 於 沼津土木事務所 15:00～16:00  
出席者 3名（支部長・大井企画委員長・東海建コン齋氏）  
・11月20日開催の展示内容について
- 10月6日 沼津土木事務所との意見交換会 於 東部総合庁舎会議室 14:00～  
出席者 県事務所：池ヶ谷所長及び幹部職員11名  
支 部：支部長及び各委員長10名



- ・協会からの要望・提案と沼津土木事務所からの回答
  - ・沼津土木事務所からの協会に対する要望 ・その他
- 同日 第3回役員会 於 東部総合庁舎会議室 16:00～17:00  
出席者 10名 (支部長・理事・監事・各委員会委員長)
- ・支部全体協議会について ・土木の日の担当について
  - ・熱海市の義援金について
- 10月18日 御殿場市災害協定締結 於 御殿場市役所 15:00～  
出席者4名 藤山会長・松井理事・勝間田理事・望月専務理事
- 10月29日 支部全体協議会 於 みしまプラザホテル 13:00～  
出席者 20社 39名
- ・研修1 講師 富士設計(株)「建設ICT技術を活用した取り組み」  
(株) ウィンディーネットワーク「測量新技術とVR技術の  
要素技術の融合」及びジオパークVR体験
  - ・静岡県東部4土木事務所長・田子の浦港管理事務所所長講話  
(座談会形式)
- 11月12日 土木の日事前協議 於 沼津土木事務所 16:00～  
出席者 2名 (支部長・東海建設コンサルタント斎秀雄)
- ・展示内容について
- 11月20日 沼津土木事務所主催「土木の日」測量体験 於 沼津港 9:00～16:00  
出席者: 支部長、市野広報経営改善委員長、土屋調査委員長、二村災害対策委員長、大井企画委員長、東海建設コンサルタント3名、東日2名、静岡コンサルタント2名、滝口測量設計2名 計14名  
トランシットを使って測量体験(歩測)154名体験、分県パズル、野帳、付箋配布
- 11月20日 下田土木事務所主催「土木の日」測量体験  
於 道の駅「開国下田みなと」 10:00～15:00  
出席者: ウィンディーネットワーク10名  
測量体験を実施 800名来場 分県パズル、野帳、付箋配布
- 12月9日 熱海市災害協定締結 於 熱海市役所 13:30～  
出席者 5名 (藤山会長、鈴木支部長、松井災害対策委員長、  
二村災害対策委員、望月事務局長)  
東部支部として義援金10万円を贈呈

令和4年

- 2月21日 第4回支部役員会 於 ベルフォーレ 14:00～  
出席者 10名 (支部長・理事・監事・各委員会委員長)

・令和4,5年度役員改選について・令和3年度仮決算・令和4年度総会について・その他

## 「中部支部」

令和3年

- 4月22日 中部支部評議委員会（コロナ禍のため書面開催） 中部支部18社
- ・令和2年度事業報告（中部支部各部会）
  - ・令和2年度収支決算報告及び監査報告
  - ・令和3年度事業計画（案）承認
  - ・令和3年度事予算（案）承認
  - ・中部支部総会議案説明 ・中部支部事業分担
- 5月26・27 静岡県交通基盤部令和3年度採用1年目研修（県市町職員土木技術者  
・31日 1年目研修）於：静岡県建設技術監理センター
- 講師 中部支部5社により3日間派遣
- 26日 座学 参加者 59名（座学はweb受講）
- 27日 県職員 測量実習
- 28日 市町職員 測量実習
- 6月10日 「地図教室」の開催 於 静岡市立伝馬町小学校
- 講師等 中部支部3社、4年生 43名
- 6月15日 「地図教室」の開催 於 川根本町立中川根第一小学校
- 講師等 中部支部3社、4・5・6年生 20名
- 9月14日 川根本町文化会館の「劔岳 点の記」上映会への協力  
（コロナ禍のため延期）
- ※例年6月、10月頃開催される中部地区評議会は、コロナ禍のため中止した。

令和4年

- 2月10日 島田土木事務所主催「静岡どぼくらぶ講座in静岡県島田工業高等学校」を官民連携で開催 都市工学科2年生36名 中部支部1社
- 3月20日 川根本町文化会館の「劔岳 点の記」上映会への協力  
（コロナ禍のため延期）

## 「西部支部」

令和3年

- 4月21日 第39回通常総会開催 於：不二総合コンサルタント(株)5階会議室  
11:00～ 出席者12名・令和2年度事業報告及び収支決算について  
・令和2年度研修会特別会計収支決算について

- ・令和3年度事業計画案及び収支予算案について
  - ・令和3年度研修会特別会計事業計画案及び収支予算案について
- 6月8日 「地図教室」の開催 於 浜松市立仲ノ町小学校  
講師等 西部支部4社、4年生 53名参加
- 7月5日 「地図教室」の開催 於 浜松市立北浜小学校  
講師等 西部支部6社、4年生 93名参加
- 7月9日 「測量の日」「地図教室」関連事業 ドローン研修  
於 静岡県立浜松工業高校 土木科1年生参加  
講師等 西部支部2社
- 7月13日 第1回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室  
出席者 12名
- ・理事会報告 ・各委員会報告
  - ・県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会について
  - ・中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動について
  - ・その他 今年度の事業計画について
- 9月21日 第2回全員協議会 於 不二総合コンサルタント(株) 5階会議室  
出席者 12名 11:00～
- ・理事会報告 ・各委員会報告 ・今年度の事業計画について
- 9月21日 中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動実施  
於 浜松市中田島砂丘 参加者 29名
- ・外来生物の除去作業を浜松市土木事務所職員と合同にて実施
- 10月16日 中田島砂丘絶滅危惧種（カワラハンミョウ）の保護活動実施  
於 浜松市中田島砂丘 参加者 29名
- ・外来生物の除去作業を浜松市土木事務所職員と合同にて実施
- 11月16日 静岡県西部地区土木事務所・企業局幹部職員との意見交換会  
於 クリエイト浜松 4階 特別会議室  
出席者 県土木事務所 12名、企業局 3名、支部会員 12名
- 12月7日 第3回全員協議会及び冬季研修会  
出席者 11名 於 浜松市三ヶ日町大崎「松島館」
- ・理事会報告・各委員会報告・支部活動について

#### 令和4年

- 1月17日 西部支部新年挨拶回り 参加者 12名
- ・関係官公庁 4グループにて挨拶回り実施
- 3月3日 支部役員会 出席者 4名
- ・総会開催について・来年度の事業計画について

## 1 7 (一社) 全国測量設計業協会連合会事業

### (1) 令和3年度 定時総会

令和3年6月15日(火) 全測連測量年金会館(東京都内)において開催され、藤山会長が出席した。

### (2) 自民党測量設計議員連盟年次総会

令和3年6月15日(火) 11時から参議院議員1階講堂で開催され、藤山会長が出席した。

### (2) 全国会長会議

令和3年10月13~14日(水・木) 岩手県における開催は、中止となった。

### (3) 全測連創立60周年記念式典(東京 学士会館)

令和4年1月13日(木) 行われ、藤山会長が出席した。

### (4) 経営委員会調査研究部会

藤山会長は、経営委員会調査研究部会に所属している。

検討事項等について、藤山会長はメールやWeb会議等で対応した。

## 1 8 (一社) 全測連中部地区協議会事業

### (1) 役員会・会長会議

役員会議年2回、会長会議1回開催し、協議会の運営、事業活動及び当面の課題等について協議することとしている。

藤山会長が協議会副会長、鈴木・山村・宮島副会長が協議会幹事、望月事務局長が事務局に就いている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、ほぼ中止している。会長は令和3年12月13日(月)名古屋での会議に参加した。その他は電話・メールにより対応した。

### (2) 中部地方整備局との要望会(再掲)

要望会は、令和3年12月13日(月)に中部地方整備局内で行われた。

### (3) 中部地方整備局長との災害協定

平成21年4月中部地区協議会長は、中部地方整備局長と「災害又は事故における中部地方整備局所管施設等の緊急的な応援対策の支援に関する協定書」を締結したが、テックフォースとの連携、リエゾン(情報連絡員)による情報共有、協定対象エリアの拡大等を目的として、平成25年3月1日に協定書が改定されている。この協定書に基づく「令和3年度災害等援助協力体制表」を中部地方整備局に提出した。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

### (4) 愛知県、岐阜県及び静岡県測量設計業協会長との災害協定

平成 23 年 3 月 23 日 中部地区協議会の 3 県の測量設計業協会長と「災害時における中部地区県測協の応援協力に関する協定」を締結している。

協定書は、当協会のホームページに掲載されています。

(5) 全測連中地協の災害関係委員長等により意見交換会（再掲）

令和 2 年 12 月 4 日のウェブ会議から 5 月 19 日、10 月 27 日、令和 4 年 2 月 9 日と松井災害対策委員長と望月専務理事が 3 回参加して、協定書の見直しについて意見を深め、協定書の内容を見直している。

(6) 中部ブロック災害復旧事業講習会は、中止された。

(7) 中部地区用地対策連絡協議会 用地職員研修（測量）への講師派遣は、中止された。

(8) グループ保険の取扱い

会員の従業員の福利厚生のため、グループ保険の取扱いを継続した。

## 19 (一社) 静岡県建設産業団体連合会事業

(1) 定時総会（コロナ対策のため、最小限の人数により開催）

令和 3 年 5 月 24 日（月）静岡県建設業協会会議室において開催されたが、コロナによる人数の制約から委任状を提出した。

(2) 「建産連と県との意見交換会」は、10 月 29 日（金）静岡市のペガサートにおいて開催され、山村副会長が出席した。

(3) 「建設産業構造改善推進のつどい」は、11 月 30 日（火）静岡市のペガサートにおいて開催され、望月専務理事が出席した。

## 20 慶弔費

社屋新築祝い金 1 件と死亡弔慰金 3 件については、内規により対応した。

（内規は、協会のホームページに掲載）